

第 172 号 内容紹介

1, S・エルナー「なぜ反米帝国主義を優先するのか」

中南米の左派政権がかかえる様々な問題に目をつぶってはならないが、アメリカ帝国主義による干渉と圧迫とのたたかいの文脈をふまえなければならない。左派政治学者のインタビュー。

2, 中東研究者の声明「ガザ戦争の深刻化をうけて・・・」

日本の中東研究者がだしたアピール第3報。ガザ危機の深刻化とイスラエルによる戦争拡大を憂慮し、日本政府および国際社会に行動を求め、賛同署名をよびかけている。

3、サヘルの人々が世界の反帝国主義運動を鼓舞

11月19日から3日間、ニジェールの首都で開かれたサヘル人民連帯会議。サヘル地域での反仏帝国主義運動との連帯を強調したニアメ宣言を採択した。

4. B・ノートン「どちらが勝ってもウォール街に利益」

億万長者の不動産大企業 CEO があけすけに語った。数字の示す所、アメリカは民主主義国家ではなく、寡頭政治国家である。

その他の記事は「AALA ニュース編集日記」で参照できます (aala_newsの編集日記 (livedoo.na愛用紹介r.jp))

